

巻頭言

2008年4月1日、京都大学に野生動物研究センター (**Wildlife Research Center**) が新しい部局として設立されました。そして設立と同時に、当研究センターは京都市動物園、名古屋市東山動植物園と連携協定を締結しました。その翌年には名古屋港水族館、よこはま動物園ズーラシア、そして熊本市動植物園とも相次いで連携協定を結びました。ここには重要な意味が込められています。

京都大学には自由な学風とパイオニア精神を尊重する伝統があります。1948年にスタートしたニホンザルのフィールド研究がその良い例でしょう。日本のサル学はアフリカ、アジア、中南米の多種多様な霊長類を対象にした多彩な研究に発展し、常に世界の第一線をリードしてきました。そして、半世紀以上にわたって「フィールドワークに根ざした知の学統」を受け継いできたのです。

その一方で、我が国における霊長類以外の野生動物研究は、世界的に見てもかなり立ちおくれています。また、野生動物の相次ぐ絶滅が危惧される今日、野生動物の研究に着手することは急務だと言えるでしょう。いまこそ日本が霊長類研究で蓄積してきたフィールドワークの経験と実績を他の野生動物の研究に活かすとともに、最新のライフサイエンスも取り込んだ学際的研究を推進すべきです。

WRCと地域動物園の連携は、「動物園スタッフと研究者の共同作業」という新しい分野を切り開こうとしています。ここで得られる成果は、動物園での展示や教育活動に活かされるはずですが、同時に、野生動物の域外保全や生物多様性の理解にも貢献するでしょう。

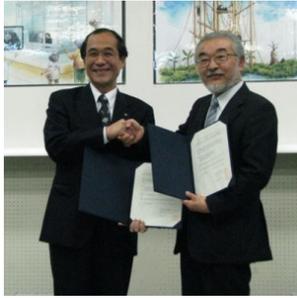
その第一段階として、本シンポジウムを企画しました。動物園ではふだんなかなか聞くことのできない、動物園スタッフの生の声に耳を傾けてください。また、ユニークな研究やNPOの活動に目を向けてみてください。このシンポジウムを通じて、多くの方々が動物園の意義と真価を問い直すきっかけになることを願っています。

2011年3月21日

京都大学野生動物研究センター長
伊谷原一

開催によせて

平成20年4月、京都市と京都大学は野生動物保全に関する教育及び研究の連携協定を締結しました。今、京都市動物園と京都大学野生動物研究センターを中核として、野生動物保全のための「種の保存」及び「環境教育」の実践的な取組が進んでいます。



特に、大学の研究者が動物園に常駐し、動物園の職員と協働して動物たちの環境を第一に考えながらその行動を観察し、お客様にもその姿を御覧いただく取組。この日本初の取組に、全国の動物園関係者はもとより、御来園いただいた多くの皆様からも高い評価をいただいております。

また、こうした取組が、京都から名古屋、横浜、熊本へと全国の動物園に広がり、新たな連携の輪が生まれていることを誠にうれしく、心強く思っています。

この度、連携する各動物園と京都大学が協力し、飼育動物の健康・繁殖・福祉の更なる充実を目指して、共同研究や情報交換、発信を行うプロジェクト「動物園大学」をスタートすることになりました。本シンポジウム「ず〜どすえ。動物園大学 in 京都」は、その記念すべき第1回です。

私は、こうした取組が、我が国の動物園・水族館の充実・発展に大きな役割を果たしていくと確信しています。本シンポジウムが実りある成果を生むことを心から願っています。

京都市動物園では、これからも動物たちの環境を大切につくり、幸福に暮らす動物たちをお客様が間近で見ることができる、そんな「近くて楽しい動物園」を目指して様々な取組に挑戦して参ります。4月には「おとぎの国」もリニューアルオープンします。

どうぞ進化し続ける京都市動物園へ、ぜひお越しください。皆様の御来場を心からお待ちしています。



平成23年3月21日 京都市長 門川 大作

プログラム

- 9:00 受付開始
- 9:30 開会のあいさつ (門川大作 京都市長)
- 9:40 5つの園によるレクチャー
- ▶ 9:40 キリンのミライは子育て上手??
京都市動物園 (高木直子) p.5
 - ▶ 10:00 チンパンジーの群れづくり大作戦 in 東山動物園
名古屋市東山動植物園 (近藤裕治) p.7
 - ▶ 10:20 知ってる? 気になる? ブーラシア
よこはま動物園ブーラシア (平賀真紀) p.8
 - ▶ 10:40 海をこえカバのモモコがやってきた
熊本市動植物園 (北川勇夫) p.9
 - ▶ 11:00 知つとるね? チンパンジー
チンパンジー・サンクチュアリ・宇土 (野上悦子) p.10
- 11:20 演者と会場参加者のフリートーク
- 12:00 (昼食休憩)
- 13:00 基調講演 p.4
山本茂行 (富山市ファミリーパーク園長・日本動物園水族館協会会長)
「これからの動物園・水族館」
- 14:15 閉会のあいさつ (伊谷原一 京都大学野生動物研究センター長)

以降のプログラムの会場は京都市動物園です (京都会館から徒歩 5 分)。

*京都会館会場受付でお渡しする缶バッジが入場券代わりとなります。動物園受付でご提示ください。

- 14:45 ポスター発表 (視聴覚室: 正門を入れて左手の動物図書館 1 階) p.13~16

研究者や動物園スタッフが、日ごろの研究の成果について、また動物や動物園のあれこれについて、わかりやすくポスターの前でお話しします。ざっくばらんにお話や質問ができるチャンスでもありますので、ぜひ足を運んでみてください。

- 終日 NPO ブース展示 (スタードーム) p.11~12

動物園に設置された「スタードーム」において、野生動物の保護、環境保全に関わる NPO によるブース展示をおこなっています。活動紹介のほかグッズ販売などもあります。



18:00~ 懇親会
☆京都トラベラーズ・イン
(会費 2000 円)

基調講演：これからの動物園・水族館 ― 半端じゃないぞ、厳しいぞ。でも、進むか

日本の動物園・水族館の明日の姿を想像したことがあるだろうか。

動物園・水族館現場で日々に追われて見えにくい世界。

今日は、社会の中で漂う日本の動物園・水族館を直視し、未来を語ろう。

未来をたぐるのは明日を考えるわれら。

日本は、確実に高齢化と人口減少の道をひた走る。この冬、北陸地方では、除雪機械とオペレータ不足、単独高齢者の孤立など、例年こなしてきた除雪ですら機能しない新たな事態が露呈した。こうしたことはあらゆる社会領域で生じるだろう。

大都市を超える地方都市の人口減少率。それは都市財政の危機をもたらす。行政サービスは学校、病院などコアなものに凝縮せざるを得ない。果たして現在の動物園・水族館はその領域に残れるのか。

動物園・水族館の資源である飼育展示動物は持続的に維持できるのか。10年先はおぼつかない。ゾウなどの希少動物のみならず、普通種すら動物園から姿を消してしまうかもしれない。海外と対等に力のある動物交換システムがとれていない現状では、動物園の動物資源は枯渇する危険性がある。

口蹄疫や鳥インフルエンザなどが社会的リスクとなってきた中で、動物園・水族館の資源としての動物を保全するシステムが整っていない。動物と人の共存・共生を前提とした動物園・水族館は、動物を人から隔離すると存立しえない。

主に子どもを持つヤングファミリーに依存した入園者数、税収に依存した公営動物園・水族館、飼育動物の維持が困難になる動物園・水族館、札幌で海外から動物を収集してきたこれまでの歴史。継年化する感染症対策…。このまま続くと、現在156園館ある日本動物園水族館協会加盟園館の淘汰の時代がくるであろう。

しかし、悲観することはない。われわれが意思を持てば。動物園・水族館は、社会に貢献できるわれわれしかできない二つの力を持っている。一つは、トキやコウノトリ、ツシマヤマネコ、ライチョウなど国家的な生物多様性保全への貢献。二つは、飼育している生きた多くの“いのち”を活用し、元気で“いのち”を大事にする人づくりと、環境に優しい持続可能な社会づくりに貢献することがそう。どちらも国家の最重要の課題だ。動物園・水族館はそれができる施設だ。社会に貢献する動物園・水族館の姿は必ず国民に理解され支持される。

それが動物園・水族館の明日の姿だ。

富山市ファミリーパーク園長
社団法人日本動物園水族館協会会長

山本茂行



山本茂行（やまもと・しげゆき）

富山市ファミリーパークでは、動物・里山・地域をテーマに、人と自然の関係づくりをめざしている。季節を感じながら身近な生きものに出会える里山と、郷土の動物を中心とした生態展示。地域の人とともに里山をつくりながら、環境教育や自然情報の普及に努めてきた。著書に「ファミリーパークの仲間たち」（北日本新聞社）、「動物園というメディア」（青弓社、共著）など。

京都市動物園



京都市動物園は、市民の寄付金と市費によって明治 36 (1903) 年 4 月に開園した全国で 2 番目の歴史ある動物園であり、市民の手によって創設された我が国で初めての動物園です。

平成 20 (2008) 年 4 月には、京都大学との間で「野生動物の保全に関する教育及び研究の連携に関する協定書」を締結し、この協定に基づいて、動物園に常駐する大学教員が動物園の職員と協働して、動物が持つ様々な魅力を引き出す施設の整備や、動物の知性の研究等を進めています。

明治 40 年の門前風景



チンパンジーの学習の様子を観覧

また、これらの研究から得られた情報やフィールドワーク等の最先端の研究成果や、保全活動の状況等についての情報発信にも取り組んでいます。連携 3 周年として「野生動物学のすすめ」を今年は 3 月 19 日から 21 日の 3 日間開催しています。3 日目は本シンポジウムの企画と一部重複しますが、19 日には「ゲノム実習」(ペンギン・ヤブイヌの性別判定)、20 日には「チンパンジーの勉強体験」と体験型のプログラムなどを実施しています。

また、平成 21 (2009) 年 11 月に策定いたしました共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき、平成 22 (2010) 年度からは、大規模な施設の整備工事が始まりました。本年春には、最初の施設として、「おとぎの国」が従来の 2.5 倍の広さで装いも新たにオープンします。「いのちの尊さ、いのちのつながり」をテーマに動物とのふれあい体験を通じて、「いのち」を実感していただける施設を目指します。

新おとぎの国完成イメージ



次いで、旧「オランウータン舎」周辺では、ライオン、アムールトラ、ジャガーを飼育・展示し、新たに我が国の固有種であり絶滅の恐れのあるツシマヤマネコを飼育・展示する「ネコワールド」(仮称)、さらには、旧「おとぎの国」周辺では、アフリカの大草食獣等を飼育・展示する「アフリカの草原」の整備工事が始まります。

京都市動物園は都心から近くて交通の便が良く、動物がお客様に近い、動物たちが幸福に楽しく暮らし、その姿を見るお客様も楽しい動物園、「近くて楽しい動物園」の実現を目指してまいります。

開園しながらの整備となり、工事期間中はお客様には何かと御不便をおかけしますが、御理解賜りますようお願い申し上げますとともに、多くの皆様の御来園を職員一同心からお待ちいたしております。

共汗でつくる新「京都市動物園構想」 近くて楽しい動物園



キリンのミライは子育て上手??

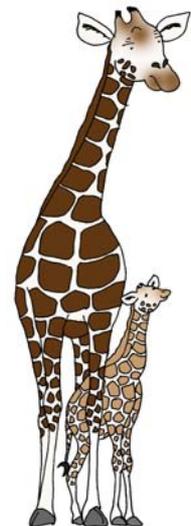
京都市動物園 高木直子

今、キリンのミライは妊娠中です。みなさんにこのお話をしている日にはきっとかわいい赤ちゃんが生まれていることでしょう。

ミライは今回の出産が3回目のベテランの母親です。今まで2頭の子育てを見てきましたが、1頭目と2頭目では育て方が少し違っていました。1頭目のオス(リュウオウ)は生まれた時からがっちりとしていておっぱいをしっかり飲んでいたので、2頭目のメス(オトワ)はちょっとか細くておっぱいあまり飲みませんでした。そんなオトワに対して、ミライは何度も何度もおっぱいを飲むように促していました。

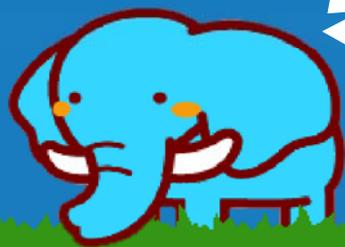
2回の子育ての様子をビデオで観察し、授乳時のミライの行動と時間や回数を調べてみると、おっぱいの飲ませ方に違いがあったのは子に対する愛情というよりは、おっぱいの張り具合のような母親側の都合ではないかと思うようになりました。ミライはとっても子育てが上手だなあと感じていたのは、人間の感情の入った見方だったのかもしれない。

母が子を愛し、子が母を慕うという行動が当たり前だと思いませんか？これは、ヒトが持っている素晴らしい習性なのかもしれません。他の動物の行動から、ヒトの素晴らしさがわかることが多々あります。動物園はそれを感じることの出来る場所です。



メダカからゾウまで

東山動物園



日本一の展示種類数とユニークな展示施設を持つ動物園

名古屋市東山動物園は、面積 32.2ha と日本でも指折りの規模をもち、展示動物はメダカからゾウまでと幅広く、500種類以上に渡るコレクション数は日本一であり、100種近い絶滅危惧動物を飼育しています。

園内には数多くの施設がありますが、中でも「世界のメダカ館」は、世界的にもユニークな施設です。メダカをテーマにした水族館は世界初で、田んぼ水槽をはじめとした200以上ある水槽に展示されている約200種・約1万点のメダカ類、希少淡水魚、水生昆虫などは圧巻です。その他、新たに改修したチンパンジータワーや人工物のある奥山の風景を模したニホンザル舎などユニークな展示施設が整備されておりますので、ぜひ足をお運びください。

チンパンジーの群れづくり大作戦 in 東山動物園

東山動物園では2010年8月にメスチンパンジーを新規導入し、新たな群れづくりを実施しました。今回の発表内容は、チンパンジーの新メンバー導入から全頭(6頭)の同居までについてです。

東山動物園で飼育しているチンパンジーのうち、亜種の異なるリナ(ナイジェリア亜種)を8月23日に熊本県のチンパンジー・サンクチュアリ・宇土(以後CSUと表記)へ送り出し、8月25日にCSUからカズミを、26日にはわんぱーく・こうちアニマルランドよりアキコをそれぞれ迎えました。この日から10月25日の全頭同居までの行程や、エピソードについてお話しします。

チンパンジーは複雄複雌の群れを形成し、メスが群れ間を移籍して血統の更新をする動物であることを考慮して、野生動物研究センター(WRC)やその他機関の協力の下、今回のチンパンジーの交換が実現しました。これについてもお話しできたらと思います。

名古屋市東山動物園 飼育第2係 近藤裕治

住所：名古屋市千種区東山元町3-70

電話：052-782-2111

FAX：052-782-2140



知ってる？気になる？ズーラシア！

よこはま動物園ズーラシア

平賀真紀

1999年4月24日に

「生命の共生・自然との調和」

をメインテーマとした動物園として開園



今年4月で開園12周年！

面積：約40.7ha→将来的には53.3haの広さ



飼育動物数：約75種400個体



↑ ヤブイヌ



← メガネグマ

ウンピョウ →



今回は・・・

これまでに飼育担当した
動物達の紹介と
裏話をしたいと思います！



熊本市動植物園

本園は、市内中心部からほど近い、市民のオアシス・江津湖のほとりにあり、動物園、植物園、遊園地が一緒になった広々とした自然いっぱいの施設です。

動物園には、孫悟空のモデルといわれる金色の長い毛を持つ金絲猴(キンシコウ)、ゾウ、キリン、ホッキョクグマなど約130種1000頭の動物を見ることができます。「動物ふれあい広場タッチ愛ランド」ではモルモットやヒツジなどと触れ合えます。

また、現在再編整備を行っており、3月26日にはチンパンジーエリアがオープンします。チンパンジー達の群れでの行動を間近で観察することができるようになります。



海を越えカバのモモコがやってきた。

熊本市動植物園 北川 勇夫

本園では、将来、江津湖という水辺の環境を活かしカバの群れ飼育を目指しており、その始まりとして、昨年5月20日に愛媛県立とべ動物園から、一頭のメスのカバ、モモコが来園することになりました。

ふるさと、両親と離れ、新しい環境で一人(頭)暮らしをはじめたモモコが、火の国熊本で、たくましく生きていく姿を、移動の様子から、現在に至るまでお話しします。

- ① 受け入れの準備
- ② 輸送用の檻への馴らし
- ③ 母ミミとの別れ
- ④ 高速、船を乗り継ぎ、
いざ熊本へ!
- ⑤ 姿が見えない一般公開
- ⑥ 皆に祝福されての誕生会
- ⑦ 走るカバ
- ⑧ 今後のモモコ



チンパンジー・サンクチュアリ・宇土



2007年4月、対岸に長崎雲仙普賢岳を望む熊本県宇土半島に「チンパンジー・サンクチュアリ・宇土（CSU）」が設立されました。ここは日本で最初のチンパンジーのためのサンクチュアリ（保護施設）です。

現在、CSUには日本にいる約330頭のチンパンジーのおよそ六分の一にあたる53頭が暮らしています。熊本県は日本一チンパンジー密度が高い県なのです。

CSUではチンパンジーの心身の幸福を満たす飼育管理を実践しており、福祉や長寿に関する研究も進めています。ここは動物園ではなく研究機関です。スタッフはCSUのキャッチフレーズである「チンパンジーが笑う山」を目指し、日々奮闘しています。

CSUレクチャー紹介

「知っとるね？ チンパンジー」

チンパンジーは私たちと同じように、仲間と暮らし、笑ったり怒ったり遊んだりけんかしたりしながら暮らしています。

チンパンジーが笑った顔を見たことがありますか？ チンパンジーが怒った顔ってどんな顔？ チンパンジーの笑い声って？ 四六時中付き合っているからこそ感じる事ができるチンパンジーの魅力をお伝えします。



ブース出展 NPO 団体

NPO 法人どうぶつたちの病院 ～野生を守るのが仕事です～



Photo 川口 誠

NPO法人
どうぶつたちの病院

NPO 法人どうぶつたちの病院は、地域に根ざした動物医療活動や飼育動物の適正飼育普及活動などを通じて、絶滅の危機にある野生動物の回復と自然再生を目的とした団体です。

現在、対馬と小笠原において、ツシマヤマネコ等希少野生動物の治療・野生復帰・飼育・繁殖、野生動物の治療・野生復帰、動物医療を通じたイエネコ等の飼育動物の適正飼養普及等の活動、あわせて活動を通じた専門家の育成を進めています。

▶ <http://www.caw-trust.org/> (事務局：東京都国立市)

緑の回廊プロジェクト

ギニア共和国、ボッソウ村にはチンパンジー1群、現在12人だけが生活しています。まわりは畑とサバンナに囲まれて孤立しています(上図)。このままでは早晩、死に絶えてしまいます。1997年から、ボッソウのチンパンジーを保護する活動「緑の回廊プロジェクト」が始まりました。地元の人々と協力し、ギニア政府、ギニアの日本大使館の援助を受けて、植林を進めています(下図)。これは、ボッソウと世界自然遺産ニンバ山の中のサバンナ地帯に、幅300m、長さ4kmにわたって木を植え、分断された生息地をつなぐというものです。2011年は、トヨタ財団の助成を受け16000本の苗木を新たに植える計画です。(代表：松沢哲郎)

▶ www.greenpassage.org



NPO 法人 市民 ZOO ネットワーク



市民ZOO
ネットワーク

「動物園を通して人間と動物の関係を考える」をテーマに掲げ、市民の動物に対する理解・関心を深めるツールとして「環境エンリッチメント」(飼育動物の“幸福な暮らし”を実現するための工夫のこと)に着目し、動物園と市民のよりよい関係づくりや、動物園に関わる様々な人たちをつなぐ人的ネットワークの形成を目指して活動しています。環境エンリッチメントに取り組む飼育担当者・動物園を応援する「エンリッチメント大賞」の開催や、セミナーや会誌・メールニュースなどの発行を通じたエンリッチメントや動物園に関する情報発信をおこない、動物園と市民をつなぐ重要な役割を担っています。

▶ <http://www.zoo-net.org/>

NPO 法人サンクチュアリ・プロジェクト



わたしたちはすべてのチンパンジーが幸せに暮らせるような環境づくりを目指して活動しています。チンパンジーのそのままの魅力をみなさんにお伝えできるような教育プログラムを動物園などでおこなっています。近い将来ひとりぼっちのチンパンジーが仲間たちと楽しく暮らせるような環境をつくるためにみなさんのご理解とご支援をお願いしています。オリジナルのグッズもたくさんありますのでぜひブースにもお立ち寄りください。

▶ <http://chimp-sanctuary.org>

マハレ野生動物保護協会

マハレ野生動物保護協会は、マハレ山塊国立公園のチンパンジーを中心として、西タンザニアの野生あふれる環境と野生動物を対象に、自然保護、調査、社会教育・広報などの活動をしております。また、英文ニュースレター『パン・アフリカ・ニュース』と日本の会員の皆様に向け、マハレのチンパンジーの興味深い行動を満載した『マハレ珍聞』を年2回発行しています。

▶ <http://mahale.web.infoseek.co.jp/join.html>



ボルネオ保全トラストジャパン (BCT-J)



ボルネオ保全トラストジャパン (BCT-J) は、ボルネオ島 (マレーシア)、世界で3番目に大きな島のサバ州に、野生動物が自由に移動でき、生命をつなげる「ボルネオ緑の回廊」をつくります。ボルネオの熱帯雨林は、酸素を供給し、多種多様の動植物が生息する「生命の宝庫」です。人間と自然と一緒に生き続けることができる、「持続可能な地球環境」を次世代に引き継ぐことは、木材、ゴム、パーム油などのさまざまな熱帯の資源を利用させてもらってきた私たちの役割です。

▶ <http://www.bctj.jp>

NPO 法人京都市動物園ふぁみりー

私たちは、京都市動物園を活動の場として、動物愛護・自然保護・環境保全の精神に関する普及啓発活動、研修会、支援活動等を行っております。

そして、京都市動物園内で来園者の方々へ、イベントを通じ野生動物の素晴らしさ、命の尊さなどをテーマにした活動を行なっております。そして、京都市動物園整備構想が始まり、新しい動物園と共に、ボランティア活動を積極的に進めてまいります。皆様方のご参加をお待ちしております。

▶ <http://www.knaa.net/>



ポスター発表

01. AS-HOPE ボルネオオランウータン観察実習報告

植田想¹・ユリラ²・栗原洋介¹・谷口貴昭¹・濱口優¹・山本英実・友永雅己² (1 京都大学,² 京都大学霊長類研究所)

2010年12月、ボルネオ島サバ州において、京都大学ポケゼミ「チンパンジー学集中実習」OB/OG生によるオランウータンの行動観察実習を行った。ダナムバレー保護区とセピロク・リハビリティーションセンターを訪問し、それぞれ野生下および半野生下のオランウータンを観察することができた。その活動内容を報告する。

02. 野生キリンの暮らしをのぞいてみよう！

齋藤美保 (京都大学大学院野生動物研究センター)

発表者は2010年6月から11月までタンザニアのカタビ国立公園に滞在し、野生キリンの調査を行った。今回はその調査でえられた、キリンのコードモの遊びに関するデータを中心に野生で見られるキリンの姿について発表する。

03. ネコではないのにジャコウネコ

中林雅 (京都大学理学研究科野生動物研究センター)

発表者はマレーシア・ボルネオ島で、果実食性ジャコウネコの生態を研究している。ジャコウネコとは、哺乳綱食肉目ジャコウネコ科に属する動物の総称である。本大会では、ジャコウネコ科動物の基礎的な生態と、「ネコ」と「ジャコウネコ」の違いを喧伝する。

04. チンパンジー病院の仕事

鵜殿俊史 (チンパンジー・サンクチュアリ・宇土)

チンパンジーも風邪をひくし下痢もします。大怪我だってします。薬も注射も大嫌いなチンパンジーをどうやって治療するか。チンパンジー・サンクチュアリ・宇土にある「チンパンジー病院」の仕事について紹介します。

05. 「チンパンジー・サンクチュアリ・宇土」って、どんなところ？

寺本研 (チンパンジー・サンクチュアリ・宇土)

チンパンジー・サンクチュアリ・宇土では、チンパンジーがチンパンジーらしく生活できるような取り組みを行なっています。今回は、施設の紹介と共に楽しいイベントについても紹介します。チンパンジーの誕生会、見たくありませんか？

06. ヤブイヌ夫婦の子育て奮闘記

田中正之¹・伊藤二三夫²・松永正之²・山本裕己¹・國本幸子¹ (1 京都大学野生動物研究センター,² 京都市動物園)

ヤブイヌは中南米に生息する、イヌ科の動物です。京都市動物園では、2010年2月9日にケンタとコモモのペアから3頭の子犬が産まれました。出産の1か月前から出産後の1か月までの観察記録を発表します。

07. 王子動物園で暮らすアカカンガルーの子育てと母子関係

高田永¹・山田一憲²・中道正之² (1大阪大学人間科学部, ²大阪大学大学院人間科学研究科)
育児嚢を持つ有袋類であるアカカンガルーが、どのような子育てをし、どのような母子関係を築いているのかを明らかにするために、神戸市立王子動物園で飼育しているアカカンガルーの母子を対象とした行動観察を行った。

08. オランウータンにおける既知個体と未知個体の顔による見分け

花塚優貴¹・島原直樹²・清水美香²・徳田雪絵²・緑川晶³ (1中央大学大学院, ²東京都多摩動物公園, ³中央大学)

東京都多摩動物公園にて飼育されている5頭のボルネオオランウータンが、既知個体と未知個体を顔で見分けられるかどうか検討した。その結果、オランウータンは顔で既知未知の区別ができることが明らかになった。

09. アミメキリンの妊娠診断および出産後排卵回帰時期と授乳行動量の推移について

楠田哲士¹・古橋沙矢佳¹・高木直子²・中野和彦²・和田晴太郎²・伊藤英之²・土井守¹ (1岐阜大学応用生物科学部, ²京都市動物園)

京都市動物園のキリンで糞中プロゲステロン動態から3回の妊娠診断を行い、また授乳行動量の変化を観察した。2007年(初産)と2009年に各1仔を出産し、それぞれ約180日と120日で排卵周期が回帰した。3月には3仔目が誕生予定である。

10. 動物園のゴリラは夜、何をしているの？

宝田一輝¹・長尾充徳²・釜鳴宏枝²・山本裕己²・田中正之¹ (1京都大学野生動物研究センター, ²京都市動物園)

動物園のゴリラは夜、何をしているのか？これを知るために京都市動物園のニシゴリラを対象に夜間、ビデオカメラを用いて観察を行いました。ずっと寝ているのではなく、時々夜中に餌を食べていることが分かりました。

11. 見たい！知りたい！チンパンジーの野生ライフ

中島麻衣 (京都大学野生動物研究センター)

タンザニアのマハレ山塊国立公園に住むチンパンジーは、森の中でどのような生活を送っているのか？樹上生活をするチンパンジーの高さ利用と行動の関係に注目しながら、野生チンパンジーの一日の行動を紹介する。

12. ヤブイヌの国内飼育経過報告

大滝侑介 (横浜市立よこはま動物園ズーラシア)

ヤブイヌの国内における飼育は、1986年より開始された。飼育が開始され、25年経った現在、4園館31頭(♂16、♀12、不明3)が飼育されている。本発表では、ヤブイヌの国内飼育経過報告を行う。

13. コアラレトロウイルス (KoRV) の解析

星野重樹・庄嶋貴之・大畑拓司・宮沢孝幸 (京都大学ウイルス研究所信号伝達学研究分野)

コアラの主要な死因に日和見感染症や白血病があり、それらの病態と KoRV 感染の関連が指摘されている。しかし、KoRV の感染機序の詳細は明らかになっていない。そこで、本研究は感染予防や治療法の開発を目的として、KoRV の感染機序の解明を試みた。

14. ウシ胎盤形成に寄与する新規内在性レトロウイルスの同定

仲屋友喜¹・越勝男^{2,3}・木崎景一郎^{2,3}・馬場健司⁴・今川和彦⁵・橋爪一善^{2,3}・宮沢孝幸¹（¹京都大学ウイルス研究所信号伝達学研究分野,²岩手大学獣医生理学研究室,³岐阜大学大学院連合獣医学研究科,⁴山口大学獣医寄生虫病学研究室,⁵東京大学大学院農学生命科学研究科）動物育種繁殖学研究室内在性レトロウイルス（ERV）は、祖先動物に感染したレトロウイルス由来の配列である。我々は、ウシ胎盤で発現する ERV 由来のエンベロープ遺伝子を同定し、胎盤形成に重要な細胞融合に関わる可能性を見出した。

15. 飼育下フサオマキザルにおけるグルーミングの機能：グルーミングの多義性とその利用

石黒雄大¹・高井進²・山下直樹²・長尾充徳²・釜鳴宏枝²・山本裕己²（¹京都大学野生動物研究センター,²京都市動物園）

本研究では飼育下フサオマキザル集団を対象に、フサオマキザルの社会の中でグルーミングがどのように機能しているのかを探ることを目的とした。観察の結果、グルーミングは近接を安定化させる機能があると考えられた。

16. メスのニホンザルの群れに飛び込んだ野生オスザルの運命は

柏木まや（名古屋市東山動物園）

東山動物園ではニホンザルのメスのみ 1 1 頭を飼育していたが、平成 22 年 4 月に野生のオスザルが迷入する事態があった。当初は別施設で飼育していたが、ニホンザル獣舎内で柵越しの顔合わせや監視下での群れ合流を段階的に行った結果、9 月下旬にはメスザルとの良好な関係がみられるようになった。

17. ビオトープ製作

田中宗一郎・高橋嘉裕・森坂輩之・山本千晶（京都精華大学人文学部）

2010 年初頭から、京都市動物園内の池内の一部を杭で囲い、新たな生態系が確立出来るようビオトープを整備した。整備後の生態調査でカネヒラやマシジミ等が生息している事が分かり、更に多様な生物の生息を期待している。

18. 動物園における PCR 法の利用

伊藤英之・岡橋要・山本裕己・塩田幸弘（京都市動物園）

近年、分子生物学的手法は様々な分野で用いられており、動物園においても性判別や亜種判定など飼育管理に利用されている。今回、動物園における PCR 法の利用例と検査の簡易化・迅速化について紹介する。

19. 京都市動物園におけるチンパンジーの健康管理

山本裕己・松永雅之・伊藤二三夫（京都市動物園）

チンパンジーは社会性と知性がとても高く、京都市動物園では毎日、健康管理のためのトレ

ーニングを行っている。体重測定、体温測定、注射の練習など、チンパンジーならではの健康管理の取組みを紹介する。

20. アカゲザルにおける鉄欠乏性貧血

岡橋要・山下直樹・伊藤英之・山本裕己・小川誠・塩田幸弘・渡辺英博(京都市動物園)
アカゲザル(雌・9才)が、重度削瘦、水溶性下痢を呈し捕獲治療を行った。血液検査から重度の鉄欠乏性貧血で、鞭虫の消化管寄生が原因と考えられた。その後、健康診断時には、全頭に鞭虫駆虫薬投与を行うようにした。

21. アジアゾウの夜間行動観察

岡部光太¹・田中正之²・柳本博¹・松岡賢司¹・水野章裕¹・岩橋宣明¹・佐々木智子¹・伊藤英之¹(¹京都市動物園,²京都大学野生動物研究センター)

当園で飼育するメスのアジアゾウ(推定38才)の夜間行動の観察を行った。映像解析は2009年1月から2010年1月までに行っている。今回は、そのうち季節による行動変化(睡眠時間など)に焦点を当てる

22. アムールトラの繁殖について

中野和彦・渡邊英博・高木直子・岡橋要・山本裕己(京都市動物園)

2007年からアムールトラの繁殖に取り組み、同居方法を見直した2010年6月16、17、18日に1頭ずつ、合計3頭の子供を設けた。見合い、同居から交尾、繁殖に到るまでの経過について報告する。

23. ヤブイヌの飼育と繁殖について

伊藤二三夫・松永雅之・山本裕己(京都市動物園)

京都市動物園では2000年からヤブイヌを飼育している。2008年3月、よこはま動物園とのブリーディングローンにより、当園のオス1頭を貸し出し、オス・メス各1頭を導入した。本発表ではこの2頭の繁殖にむけた飼育管理面での取り組みについて報告する。

24. 吊り橋プロジェクトに参加して

和田晴太郎¹・黒鳥英俊²・中西宣夫³・小川光輝³・小川直子³(¹京都市動物園,²上野動物園,³BCTジャパン)

2010年10月、BCTジャパンが中心となりボルネオ島キナバタンガン川支流のタカラ川で実施された消防ホースを再利用した吊り橋作りに参加した。その準備から架橋作業及び架橋後の活動について紹介する。

25. ガボン共和国での野生ニシゴリラの観察

長尾充徳(京都市動物園)

2010年4月中旬から5月上旬にかけて、京都大学が主体となりエコツーリズムを目指した取り組みを行っている、ムカラバ・ドゥ・ドゥ国立公園で野生ニシゴリラの観察を行った。そこでのゴリラたちの生活について紹介する。

「ず〜どすえ。動物園大学」が目指すもの

- ☆ 動物のよりよい暮らしのサポート（飼育技術の向上）
- ☆ 動物や、動物をとりまく環境の理解（飼育下から野生まで）
- ☆ 動物の健康、繁殖、福祉の充実

京都大学、および連携する動物園が協力して
情報交換・共同研究・教育普及をおこなうプロジェクトです。

「ず〜どすえ。動物園大学 in 京都」企画・準備

京都大学野生動物研究センター連携園館連絡会議

伊谷原一（京都大学野生動物研究センター センター長）

田中正之（京都大学野生動物研究センター 准教授）

藤澤道子（京都大学野生動物研究センター 助教）

森村成樹（京都大学野生動物研究センター 助教）

齋藤亜矢（京都大学野生動物研究センター 研究員）

高橋佐和子（京都大学野生動物研究センター 事務掛）

秋久成人（京都市動物園 副園長）

和田晴太郎（京都市動物園 安全管理係長）

橋川央（名古屋市東山動物園 副園長）

齋藤憲弥（財団法人横浜市緑の協会 横浜市立よこはま動物園 飼育展示係長）

本田公三（熊本市動植物園 副園長）

松本充史（熊本市動植物園 飼育第二係技術参事）

小林久雄（株式会社三和化学研究所チンパンジー・サンクチュアリ・宇土 施設管理所長）